

## 研究会員の声 7

これらは責任のとれない立場からの生の声を記録したものですので、誤解などあるかも知れません。それを承知でお読みください。

### ○ 公開質問状

昨年9月に出した公開質問状に対しては、いずれも月1回配達証明郵便にて回答の催促を行っているが、未だHZ社からは回答がなく、外部監査役の関西電力(株)からも回答がない。また、両社ともにコンプライアンス委員会からも回答がない。どういう感覚か知らないが、無視するが勝ちということだろうね。コンプライアンス委員会すら黙っているということは、社内のコンプライアンス遵守体制が全く機能していない左証であろう。

一方、HZ社・会長兼社長が副会頭をしている大商に対しては、ベンチャ企業「エヌビエール株式会社」の金品を事前に抜き取り、倒産させる特別背任行為を働き、その盗品で名前だけ付け替えたHZの孫会社「日立造船コンポジットマテリアル株式会社」を設立し、裏操作でHZ完全子会社を図っていることの説明を求める文書を正月早々に送付、その後催促も行ったがこちらも返答がない。

### ○ ひとち造船に会社を乗取られ、貸した金も返してもらえないげつない話

一時、私が会社にお金を貸し、ひとち造船の当時の担当していたK. M業務部長より会社の決算書類を詳細に精査された後、「一時会社に立替えた資金を貸付金へ振り替えてほしい」と要請され、貸付金に変更した。ひとち造船へ経営権を取られる事前、K. M部長に旧経営陣が確認したところ、「ひとち造船がNBL社の経営を引継ぐのだからNBL社の債務も当然引継ぎ、返済する」との口約束を信じたところ、約束手形を不渡りにされ、何度も返済交渉をしたところ、ひとち造船が派遣した社長が「経理上の確認ができていないので4カ月待つてほしい」と言われ、信じてその日を待ったが嘘であった。

そこで、裁判を用意し、結審に近づいた、私が勝訴を確信した時、ひとち造船は裁判を延期し、NBL社の破産申請を行なった。

詐欺師？ 上場会社の行なうこと？ ひとち造船は口での約束は守らない会社ですか？

○ 一流企業元役員の声：一流企業の中で仕事をしてきたが、一流企業がそのような詐欺的乗っ取り行為を行ったことは聞いたことがない。ひとち造船はその名に恥じず、相当なワルだね。彼らはそれでしか食えない連中なのだろう。

○ 我が国発の新たな事業を興すべく退職金などをつぎ込み支援してきたベンチャの負債をいちゃ問をつけて2号不渡り手形とし、裁判で決着がつきそうになると倒産させるなど、

どういう感覚をしているのだろうか。

○ 思い返すと、益々140億円の裁判を起こす必要を感じる。裁判を撃てる方向に動いてきているので、長期安定体制が固まる今年中を一つの目途に進めていく。ベンチャにおける開発の苦しみを救うべく会社へ貸したお金は不渡り手形とされ、その担保金も結局はだまし取られたが、ひとち造船さんには対応して140億円裁判の引当金数十億円を積んでもらうことになる。

○ ひとつ分かったことは、HZに対して株主訴訟を主導し、それを標榜している弁護団も、それを契機としてか、HZと利害関係が出来てしまっているようで、社会の小ささを感じる。

○ ひとち造船が乗っ取った会社として前回挙げた「(旧)大波運輸倉庫(株)」の乗っ取り経緯の話も近いうちに載せる。その他に九州の方でののっとられた会社があり、それも載せる必要があろう。